

H30 ステップアップ会議（岩美会場） 「現実」～現在はどんな状況ですか？～

人口減・高齢化・過疎化

- ・早くにお店が閉まる、閑散としている
- ・高規格道路などが整備されつつあるので、期待は持てる
- ・空き家が増えている
- ・対話しようにも高齢者ばかり
- ・人口がどんどん少なくなっている
- ・若者が少ない、お年寄りだけの家族が増えている
- ・子供の人数が減っている
- ・独身男性が多く、子供が少ない
- ・結婚しない人が多い（現状で困ることが少ないから？）
- ・若者が圏外に出ていく（人口減少）
- ・少子高齢化で人口減
- ・高齢化の先進地。孤独。運転が難しい。
- ・過疎化が進み限界集落は消滅の危機
- ・一人暮らしや空き家が現状増えていて地域社会が世話や気にすることが増えている
- ・新しいものが入ってきにくい
- ・賑わいがない。人が少ない。
- ・役をやりたがらない
- ・地域の役員とかを仕切る人がいない。同じ人がずっと役をしている。
- ・希望とか夢があまりないように感じる
- ・現時点では人々の暮らしはそれなりに回っているので大丈夫な状況だが、将来にわたって大丈夫かは不明
- ・昔と比べて子供が少ない。成長して都会に行って帰ってこない。
- ・子供など見えない貧困が進んでいる

環境

- ・自然環境は最高。現状維持ができるのがベスト（人口も）
- ・自然は今のところ維持できているが、マイクロプラスチックゴミが気になる
- ・自然は守られているが放置されているところもある
- ・山林は荒れ放題。農地も荒れてきている
- ・自然を活用した遊びが出来てきたが少ない
- ・子供が外遊びをしなくなってるらしい、危ない、汚い。

雇用

- ・職については依然厳しい。同じジオパークをやっているけど都会と田舎では意味が違う。
- ・産業衰退。働き場がない。
- ・水産は地域の大きな基幹部分。今後は懸念される一カニの少子化
- ・産業の力が弱くなっている。小さいところが続かない。
- ・自助は出来ているが若い人達が跡を継がない、継げない。

- ・人手不足。インフラが維持できない
- ・海の資源が十分に生かされていない
- ・人手不足がすごい、若者が戻ってこない、魅力的な場所だと思えない。
- ・企業の後継ぎがない。
- ・労働力が外国人、A Iに置き換わるとしたら、特色など受け渡す仕組みがなくなる。
- ・若い人の働く場所がない

地域

- ・そこそこ安心・安全
- ・災害がおこる理由を知らない。対応を知らない人が多い
- ・治安が比較的よい。
- ・地域を好きな人が多いので満足している
- ・価値観は多様なので他の方は分からない
- ・兵庫の竹野では名前だけ知られている状況（市民の関心が低い）
- ・地域を好きな人が多いので、笑顔で生き生きしていると思う
- ・つかず離れずに助け合いができています
- ・心豊かに今は暮らしている
- ・会話の場がない、意識の問題
- ・地域によって熱量に濃淡。昔のやり方が硬直化
- ・限られた人の輪での交流はあるが、交流がない人が沢山いる。自分中心で考えてしまう。
- ・時代の変化に合わせて変わりつつある

交流・その他

- ・アクティビティをするための受入体制は整いつつある
- ・地域の人との交流ができていない、理解がまだ得られていない
- ・世代ごとの交流がメインになっている
- ・地域外の行事が多い
- ・話をする機会が少ない（場の問題）
- ・その場に人が集わない（意識の問題）
- ・村の行事が少なくなった
- ・行事への参加者が少ない
- ・地域に峠がある（昔からの地域割り）
- ・まったくできていない、是非やりたいが、実行できない（受け身）、実力、時間がない。
- ・少しずつ面白くなっている感じ。ただ、昔の姿、やり方に囚われていて、硬直している部分もある
- ・ジオパークに関わりがあることは色々あるのに担当が観光課ばかり
- ・地域自然を活かした地域の活性化と観光客の誘客を目指しているが、それを望まない人も多い。
- ・お客様はそれなりにお越しですが、滞在時間が短い
- ・各チーム（ガイドチーム、まんまくらぶ、白砂青松保全委員など）活動しているがつながり不足
- ・まだまだ余地がある、まだ全然足りない